湖風（うみかぜ）

NALCびわこ彦根・広報誌
第９７号・平成２７年２月１０日
彦根市後三条町１２５（安田武雄方）
電話＆FAX０７４９・２３・２５３７
編集・発行責任者・小林　　博

ジエネリック医薬品

【ジエネリック医薬品とは】

後発医薬品（ジエネリック医薬品）は、先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認されている。したがって、開発費用が安く抑えられることから、先発医薬品に比べ薬価が安くなっている。

このため、後発医薬品の普及は、患者負担の軽減、医療保険財政の改善に資するものと考えられますが、日本では後発医薬品のシエアは４０％弱であり、欧米各国と比べ普及が進んでいなようである。

その理由として、医療関係者の間では、後発医薬品の品質や情報提供、安定供給の対する不安が払拭されていないことが挙げられる。こうしたことから、政府は後発医薬品の使用促進のため施策に積極的に取組んでいる。

【その薬効は】

ジエネリック医薬品は後発医薬品に比して「安い」「同じ効果」と利点ばかりであれば、医師もすぐに処方を変えるが、実際はそうではないようである。ジエネリック医薬品にはそれなりの欠点が存在するようである。

製剤特許が切れていなければ、全く同じ薬をつくることが出来ないので、薬価を低く抑えるために、インドや中国でつくられている。

ジエネリック医薬品には、「有効性の試験」はあるが、「安全性の試験」はなく、しかも、「有効性の試験」とはいえ、２０％の範囲内で有効性は同じであると判断されている。薬を飲んだ人が、効かないといわれる背景にはこうした経緯がある。

薬には、ブラセボ（偽薬）効果があるので、効果はさまざまであるが、副作用があるので十分に注意して飲む必要がある。（安田）

びわこ彦根広報板

［１２月の活動記録］

時間外預託点数　６点（１人）
奉仕活動点数　　３点（３人）

〔運営委員会；月例会〕

実施　　１月６日（火）ＰＭ１；３０～
予定　　２月２日（火）ＰＭ１；３０～

〔１２月度の経過報告〕

＊サロン開催実績
手芸０回　パソコン０回　卓球４回
おしゃべり３回　　読書９名５冊
チビッコサロン１９組４４人

＊助け合い０件

＊福祉調査センターの活動
実施　１２月２件
予定　１月２件

［会員動向］　　異動なし

［連絡事項］

＊新年食事会を１月13日（火）PM12：30～行いました。1人欠席でしたが8人の会員が出席されました。会話を楽しむのが目的であったので大変楽しかったと思います。

＊施設が老朽化しており、ナルクの館内も快適な環境ではありませんが、平和堂様も建て替えや修理をして頂けるようではなくこのままでの対応が求められるようです。

〔本部からの連絡事項〕会員自身高齢化し、社会も著しく変化しています。それらに対応するための知識や常識や常識が必要になっています。ナルク主催の「第１回終活セミナー」をナルク主催の**「第１回終活セミナー」**を開催いたします。

１・日時：2015年２月26日（木）10:00~16:00

２・大阪市立中央公会堂　３階小集会室　**テーマ１、現在の葬儀事情について２、事例大垣拠点のナルク葬３、財産の賢い増やし方４、相続税の改正と対応について**　会員外の友人・知人にも参加を呼びかけて下さい。「ちらし」はナルクの館に置いてあります。申し込先は安田・小林まで。

参加費：無料　資料代は５００円　一般市民来場歓迎!